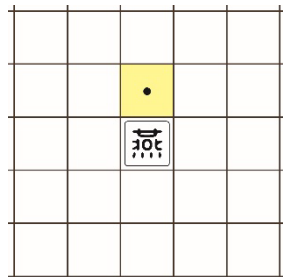


駒の種類と動き

燕 (つばめ)

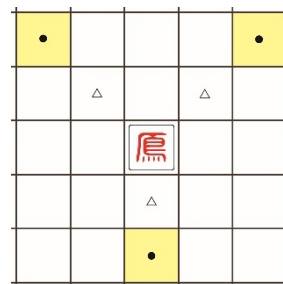
本将棋の歩にあたる駒です。前方に一步だけ進み、敵陣に入ると鷹に成ります。



TIPS: 燕は日本では夏鳥で、春に南方から飛来し、子育てをして秋に去ります (春季語です)。軒下に巣を作る姿が親しまれています。

鳶 (かり)

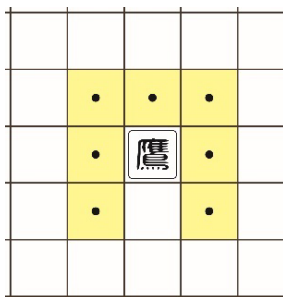
燕の成駒です。斜め前方、または後方へ、間1マス置いてジャンプします。間にあるコマは飛び越えます。



TIPS: ガンとも呼ばれます。日本へは秋に飛来し、春に北方へ去ります。秋の季語として伝統的な和歌や俳句に多く詠まれています。

鷹 (たか)

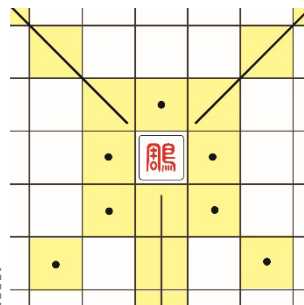
後方を除く隣接マス7方向へ移動します。敵陣で鷹に成ります。



TIPS: 日本を代表する中型の猛禽類です。多くは留鳥ですが冬の季語とされています。古くは鷹狩りと言って狩猟に利用されました。

鷹 (くまたか)

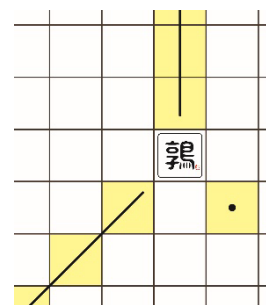
鷹の成駒です。前方または左右に1マス、斜め後方へ1マスか2マス、斜め前方または後方へ無制限に動くことができます。いずれも他の駒は飛び越えられません。



TIPS: 一般には熊鷹、角鷹と書きます。日本の鷹の中では大型で、森林の生態系の頂点に君臨し森の王者と呼ばれます。

鶉 (うずら)

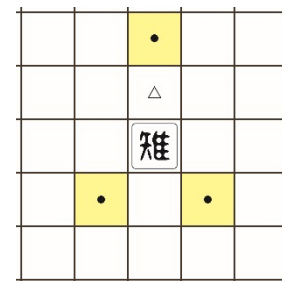
駒の中で唯一、左右で動きが異なります。左の鶉は左後方へ一步、前方および右後方に無制限に移動します (他の駒は飛び越えられません)。右の鶉は逆になります。



TIPS: 日本では秋の野に見かける小型の鳥で、古来より食用・鑑賞用として飼育されています。特に卵は食材としておなじみです。

雉 (きじ)

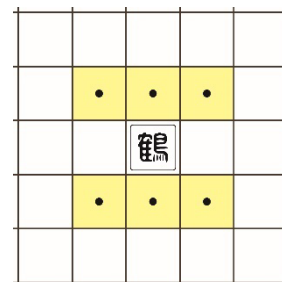
斜め後方へ一步、または前方へ1マス置いてジャンプします。間にあるコマは飛び越えます。



TIPS: 山野にいる留鳥で秋の季語です。住宅地で見かけることはありませんが、民話「桃太郎」に登場するため日本ではなじみのある鳥です。

鶴 (つる)

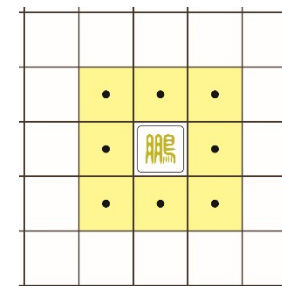
左右を除く隣接6マスのいずれかへ移動します。



TIPS: 日本へは秋に飛来し、水辺で冬を過ごす大型の鳥です。民話「鶴の恩返し」や伝統的な画題としてよく知られています。冬の季語です。

鵬 (ほう)

本将棋の王将に当たる駒で、8方向の隣接マスに移動します。鵬が詰まされると負けになります。



TIPS: 鵬は中国の神話に登場する巨大な鳥です。正確な姿はわかりませんが、ここでは大きな羽根のシルエットで表しています。横綱の大鵬、白鵬の名に使われていることで知られています。